

JCHO可児とうのう病院の「いま」を伝える

はとぶき

hatobuki
vol.29
2019 NOVEMBER



特集 安心して医療を受けられる環境を整える

「医療安全」の取り組み

ニュース&トピックスVOL.27

医療連携ひろば | 医療連携Drスマイルリレー 山手クリニック/野尻整形外科

健康ナビVOL.18 | 生活習慣病の予防につながる!サインポスト遺伝子検査のススメ

四季の健康 | 豚肉の朴葉味噌焼き

はとぶき 第29号 (発行) JCHO可児とうのう病院

T 5090206

岐阜県可児市土田1221番地5

TEL 0574253113

FAX 0574254657

外来診療担当表

令和元年11月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	総合	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2診 (消化器)	佐藤 淳一	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
	3診				3診 佐藤 淳一	
	4診 (循環器)	岩田 敬和	山田 清康			増富 智弘
	4診	横内 一彦	山田 清康	林 尋之	鈴木 淳也	横内 一彦
	5診 (呼吸器)		13:00~ 林 尋之			
	6診 (神経内科)	井上 正英			磯部 好孝	
	7診 (血液)	井口 洋平	小野寺 一成		小池 春樹	横井 聡
	8診 (糖尿病・内分泌)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	池野 世新	
外科	1 診	池庭 誠	代 務	安藤 敏仁	高槻 健介	林 優佑
	2 診					児玉 章朗 (血管外科)
	3 診	池山 隆	池山 隆	池山 隆	池山 隆	池山 隆
	形成外科 (予約制)		岸田 喜彦		1・3・5週 門松 由佳 (呼吸器外科)	岸田 喜彦
	小児外科 (予約制)		2・4週 14:00~ 中村 優			
			14:00~ 岸田 喜彦			
整形外科	1 診	交替制	藤田 明子	竹本 元大	世木 直喜	金子 慎哉
	2 診	中野 健二	岩月 克之 (手外科)		中野 健二	
	3 診	小清水 宏行 (脊椎)	鈴木 望人 (リウマチ)	幸島 寛		幸島 寛
	午後					4週 14:00~16:00 川崎 雅史 (股関節)
泌尿器科	1 診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	1・3・4・5週 山田 芳彰 2週 原 浩司
	2 診	森永 慎吾	原 浩司			
小児科	1 診	金山 恵子	市川 大輔	月館 幸一	浅田 英之	金山 恵子
	専門外来 (午後 予約制)			1週 (小児循環器) 長谷川 誠一		2・4週 (神経) 牧 祐輝
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生			田邊 陽介	
婦人科	1 診	片山 宣	村岡 彩子	眞鍋 てるみ	服部 諭美	片山 宣
皮膚科	1 診	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	交替制 (完全予約制)
脳神経外科	1 診			松野 宏樹		
眼科	1 診	加藤 彩	加藤 彩	加藤 彩	(受付10:30まで) 土井 浩史	加藤 彩

| 外来受付時間 8:30~11:30 | 休診日 土・日・祝日・年末年始 |

安心して医療を受けられる環境を整える

「医療安全」の取り組み



JCHO可児とうのう病院では、安全で安心の医療組織を構築するためにアクシデントやインシデントについて情報の分析・対応・評価を行い、検討した対策をもとに改善運動を積み重ねる「医療安全」の取り組みを推進しています。

特集

hatobuki

Information

期間限定 限定半日ドックのご案内

個人様限定半日ドック
キャンペーン!!

実施期間 令和2年1月6日
~3月31日

(レディースドック実施日は除きます)

対象者 検査料金全額個人負担の方のみ
※他健診の利用券等は使用できません

検査料金 26,000円(税込)
※男性にはPSA検査、女性には骨密度検査をお付けします

※限定半日ドックにお値打ち価格の下記オプションも追加できます
※下記以外のオプションもございます。お気軽にお問い合わせください

- | | |
|------------|-----------------|
| ① 血圧脈波検査 | 2,200円→1,500円 |
| ② 睡眠時無呼吸検査 | 2,200円→1,500円 |
| ③ 胸部CT検査 | 11,220円→7,000円 |
| ④ 脳ドック | 39,600円→33,000円 |

JCHO可児とうのう病院 健康管理センター | 受付時間 平日13:15~17:00 |

JCHO可児とうのう病院

公開糖尿病教室

日時 11月29日(金) 13:30~15:00

場所 可児とうのう病院2階講義室

テーマ 「転ばぬ先の予防策(足の手入れ)」

講演 ①白癬について (皮膚科医師 佐竹史章)
②転ばぬ先の予防策(食事) (管理栄養士)
③自宅で出来る足チェックとセルフエクササイズ (理学療法士)

※公開教室講演前の時間において希望者に血糖測定・血圧測定・尿中の糖分・塩分チェックを行います(13:00~13:30 先着40名)

※患者さんやご家族、地域の方など糖尿病に興味のある方等、どなたでもご参加いただけます

JCHO可児とうのう病院 糖尿病ケアチーム | 電話問合せ時間 平日 13:00~17:00 |

各日先着30名様 Premium レディースドック

毎年ご好評頂いているため
今年度は3回開催します!!

実施日 令和2年
3月2日・23日・30日

対象者 検査料金全額個人負担の方のみ
※他健診の利用券等は使用できません

半日ドックに下記の項目が
セットになっています

- ♥ 子宮頸がん検査
- ♥ 乳がん検査(マンモグラフィ2方向)
- ♥ 骨密度検査・CA125(血液検査)
- ♥ 結果説明

検査料金 32,000円(税込)

※上記限定健康診断は人数に限りがあるため、予約をお断りする場合がございますのでご了承ください

ランチ券
付き

参加費
無料

定員
70名

予約
不要

可児市後援事業

—— 同時イベント ——

ポスターパネル展示

- 期間/11月25日~29日
- 場所/1階ロビー

無料血糖値測定

先着
50名

- 日時/11月28日
(午前10時~正午)
- 場所/1階ロビー

※詳細は病院スタッフまで
お問い合わせください



「医療安全」の取り組みを 今後は地域全体で

副院長 岩田 敬和

患者さんの取り違えをはじめとした医療事故がクローズアップされた1990年代後半ごろから、医療現場の管理体制の整備や安全対策が講じられた医薬品・機器の普及など「医療安全」の取り組みが進められてきました。

2015年には第三者機関が医療事故の原因を究明する「医療事故調査制度」がスタートし、



副院長 岩田 敬和

「医療安全管理者」として 患者さんのためにできることを

看護師長 森 みどり

JCHO可児とうのう病院の医療安全管理者になって5年が経ちました。「患者さんを自分の家族だと思って、心のこもったあたたかい医療・看護が受けられる環境を整えるのが私の役割」という思いを抱き、「医療安全」の取り組みを推進しています。



看護師長 森 みどり

2018年から医療機関同士の地域連携も始まったことで「医療安全」の考え方をより浸透させる環境が整ってきました。

私たちJCHO可児とうのう病院でも、中濃厚生病院（関市）や白川病院（加茂郡）との連携を密に行うなど「医療安全」の取り組みを行っています。

医師の意識改革が 「医療安全」のキーポイント

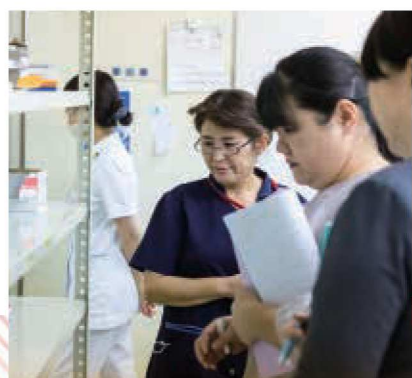
私たち医師が「医療安全」に取り組むことで、患者さんはより納得して医療を受けられるようになります。今までは治療方針のみをご説明していたシーンでも、医療サービスを受けるうえでの患者さんにとってのリスクも必ず説明する流れに変わりました。

このように「医療安全」に対する医師の意識改革が進んでいますが、今後はさらに患者さんの心に寄り添い、患者さん目線で納得してもらえる話し方を工夫するなどホスピタリティあふれる医療の提供が求められています。



私の具体的な仕事は、病院内をラウンド（巡回）して安全管理を確認したり、スタッフから上がったインシデント・アクシデント報告書を取りまとめ改善策を立案・周知したり、スタッフ研修や安全情報の配信などで啓蒙活動を行ったりと多岐にわたります。

医療事故には至らなくても、場合によっては事故に直結したかもしれないエピソード「ヒヤリ・ハット事例」を積極的に拾い上げること、今後のより良い対応につながっています。



みてみようドクターの仕事! ☆ & ふれあい看護体験

「みてみようドクターの仕事!」は、将来医師を目指している県内の中学生・高校生が医師の仕事を経験したり意見交換などを行う県の事業です。可児とうの病院では、今年も洪統括診療部長と一緒に、県内の高校生が実習体験やセミナーを行いました。参加者は、AEDや心電図の使い方を教わったり、ダミーを使った静脈路確保模擬体験など、終始真剣な表情で臨んでいました。



AED体験



静脈路確保模擬体験



研修医との意見交換



バイタルサイン測定体験



手洗い・消毒体験



ベッドサイドケア体験

チェックで
洗い残しを
確認します



薬の管理についての説明

また、看護師を目指している人や興味を持っている人を対象に、「ふれあい看護体験」も開催しました。「ふれあい看護体験」とは、病院や老人保健施設などへ見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。今年可児とうの病院では、看護師や保健師などの仕事に興味があったり、将来目指している高校生10名が参加しました。参加者からは、

手洗いや除菌など
衛生管理の大切
さがわかった。

体温を測るときなどに必ず患者さん
一人ひとりと会話しながら身体の様子
を把握していてすごかった。

ミスが許される仕事で
はないので、チームでお
互いをカバーしながら
動いていた。

今回体験して、看護の仕事はとて
もすてきだと感じた。身体を拭い
た後にお礼の言葉を言われた時
とても嬉しかった。

など、大変な仕事でも人の役に立てるやりがいのある仕事だと話していました。

市民公開講座を開催しました



今回は「脳を守る・活かす～脳卒中や認知症の最新医療～」をテーマに名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学教授の若林俊彦氏を講師にお招きし、講演いただきました。同時開催の健康チェックでは岐阜医療科学大学様にもご協力いただき、血管年齢などの測定を行いました。当日は定員を超える来場者があり、受付をはじめ、会場案内がうまくできなかったために聴講できなかった方や健康チェックを希望しても受けることができずにお帰りのなった方もみえました。心よりお詫び申し上げます。今回の反省点を活かし、今後も市民の皆さんの健康に貢献できるよう、励んでまいります。

ニュース & トピックス vol.27

表彰活動を通じて 「医療安全」の取り組みを加速

「医療安全」におけるJCHO可児とうの病院の特徴的な取り組みは、10年以上続く取り組みの発表と表彰です。毎年、各部署が行った活動事例を院内で発表・掲示し、患者さんとスタッフで投票を行い、表彰しています。また、インシデント・アクシデントに対して個人ではなく組織で対応するしくみづくりを積極的に進めています。

これからも「医療安全」の風土を浸透させていくことで、患者さんに安心して頼っていただける地域の中核病院に育てていきます。

今年1年の医療安全の取り組みを、12/3～10の期間、病院ロビーで掲示します。薬の誤投与防止や安全な環境への取り組みなど、院内各部署が真剣に取り組んできたことを紹介します。ぜひご覧ください。



山手クリニック



地域のみなさんのニーズに合わせ、往診にも力を入れています。



山手クリニック

住 所 美濃加茂市田島町
2-13-15

電 話 0574-28-5611

診療科 内科・皮膚科・小児科・アレルギー科・リハビリテーション科 P有

「子どもの頃から診てきた方がママになってお子さんを連れてくると、地元で長年やってきて良かったなあと感じます。」そう話すのは、メガネがトレードマークの院長・日江井先生。開院以来、ホームドクター（家族の皆様の健康を守るクリニック）として地域医療を支えさせて頂ければとの思いです。また、日本体育協会公認スポーツドクターの一員として、内科的な視点からアスリートや地域のスポーツイベントをサポートさせて頂いています。

生まれ育った美濃加茂に
医師として貢献できると
うれしいですね。

日江井 恵次 院長

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30~12:10		○	／	○	○	○	○	／
15:00~18:00		○	／	○	○	○	／	／

※往診あり、スポーツ救護対応



地域医療機関とJCHO可児とうの病院を結ぶ架け橋
医療連携 Dr スマイルリレー

野尻整形外科



小さな外傷の手術などは当診療所で対応が可能です。



野尻整形外科

住 所 美濃加茂市太田町
1887-2

電 話 0574-25-3500

診療科 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科 P35台

脊椎疾患が専門の院長・肇先生と、リウマチ・関節外科が専門の淳先生の兄弟で営む「野尻整形外科」。整形外科の専門施設として、先代から約60年にわたって美濃加茂で診療を続けてきました。肇先生が日々大切にしているのが、患者さんの希望と治療方針がずれ違わないよう努めること。看護師と医師の両方で状態を確認し、治療にあたっています。また、特殊な治療が必要な場合には患者さんにとって最適な高次医療機関を紹介しています。

脊椎疾患と関節疾患
二人の医師が、患者さんの
診療にあたります。

野尻 肇 院長

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30~12:30		○	○	○	○	○	○	／
13:30~17:30		○	○	／	○	○	○	／

医療連携ひろば

地域の医療機関 (かかりつけ医)

体調不良の際の相談

日常的な病気の治療など

入院や精密検査が必要な時は、病院へ紹介



主治医はふたり

地域のかかりつけ医とJCHO可児とうの病院の医師が連携し合い、ひとりの患者さんに対して共同で継続的な治療を行います。

JCHO 可児とうの病院

精密検査や手術、専門的な治療が必要な外来・入院治療

かかりつけ医の紹介状があれば優先的に診療を受けられる

退院時の相談、在宅医療、かかりつけ医の紹介、転院先の病院や施設などを紹介

JCHO可児とうの病院医療連携室「みどりの窓口」では、連携している地域のかかりつけ医との関係を深め、より充実した地域連携を提供できるように努めてまいります。

自宅で受けられる医療について、困った時のために
いろいろな選択肢を見つけておきましょう。

訪問診療

医師

訪問歯科診療
歯科医師
歯科衛生士

訪問看護

看護師

訪問薬剤管理

薬剤師

在宅医療

訪問栄養食事指導

管理栄養士

訪問リハビリテーション

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士

地域にはこれらのサービスがあります。かかりつけの医師やケアマネージャーと相談し、必要な時に必要なサービスを利用していきましょう。

調理師が考える
健康食を家庭で！

豚肉の朴葉味噌焼き

材料 【1人分】

- 豚肩ロース 60g
- 朴葉味噌 7g
- パプリカ赤 10g
- パプリカ黄 10g
- きぬかつぎ 1ヶ
- 白髪ねぎ 5g
- 朴葉 1枚
- 生姜 3g
- 青身のねぎ 5g
- 酒 適宜
- しょうゆ 適宜
- だし汁 適宜

作りかた

- ①豚肩ロースをオーブンで焼く
- ②肉を調味液で煮込む。(3時間ほど煮込む)
- ③パプリカ(赤・黄)を食べやすい大きさにスライスし、鍋で茹でる。
- ④添えの白髪ねぎを切っておく。
- ⑤朴葉に②で下味をつけた肉を置きその上から朴葉味噌をのせパプリカを散らす。
- ⑥⑤をオーブンで焼く。(焼き色が付く程度)
- ⑦皿に盛り、白髪ねぎを散らし、きぬかつぎを添える。



調理師 河村菜月

患者さんが旅行に行った気分になれるように、地元の食材を使って秋の訪れを表現しました。豚肉の朴葉味噌焼きで使用する朴葉は秋らしさを演出し、パプリカとねぎを散らし彩りを加えました。

JCHO可児という病院の「病院食」は、院内の栄養管理室が献立を考え、調理を行っています。

そのなかで、郷土料理や季節ごとの旬を取り入れた特別な献立を、月に一度ご用意しています。「健康的でおいしく、見た目にも食欲をそそる料理を」と調理師が考えたメニューです。

ぜひ一度つくってみてはいかがでしょうか？



生活習慣病の予防につながる！

サインポスト遺伝子検査のススメ

生活習慣病に関連する12項目の「遺伝子リスク」をチェックすることで、健康を維持するために必要な栄養素やライフスタイルがわかります。遺伝子は一生変わらない情報ですので、健康への道しるべとして健康診断に加えましょう！

サインポスト遺伝子検査とは！

大阪大学医学部から生まれた検査で、70種類の遺伝子の保有状態を測定します。生活習慣病は「遺伝子」と「環境」の要素によって起こるため、同じ食事や運動を行っていても遺伝子のわずかな差で病気の進み方に大きな違いが出てきます。「遺伝子リスク」を知ることが健康維持への意識を上げるきっかけにもなるサインポスト遺伝子検査は、ご家族や近親者に生活習慣病の方がいる場合に受けておくとう安心です。検査は2mlの採血を行うだけの簡単なもの。1ヶ月ほどで検査結果がご自宅に届きます。

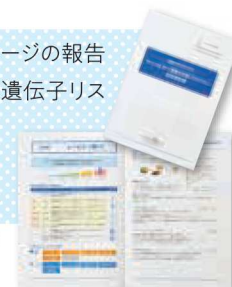


遺伝子検査でわかる12のリスク

- 肥満
- 体内老化
- 動脈硬化
- コレステロール
- 血栓
- アレルギー
- アルコール
- 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 高血圧
- 高血糖
- 口コミ(筋力低下)
- もの忘れ

※ガンに関連する遺伝子は含まれておりません。

イラストを使った約40ページの報告書で結果がわかります。遺伝子リスクを知ることで、生活習慣病の予防や重症化の予防、そして「オーダーメイド医療」の実現につながります。



私自身もサインポスト遺伝子検査を受けてみて、発症していないだけで遺伝子的にはアレルギーが出やすい体質だということがわかりました。レポートもそれぞれのリスクがレベル別で表記され、とってもわかりやすい内容です。



臨床検査技師 三尾 美江子

『サインポスト遺伝子検査』の予約を希望される方は、健康管理センター(0574-25-3115)までお気軽にお問い合わせください。



vol.18